

「食品製造プロセスにおけるDX・AI・データ活用」 をテーマとした講演会を開催します

1 概要

近年、デジタル技術を活用して大きな変革をもたらすデジタルトランスフォーメーション（略称：DX）により様々な社会課題の解決や経済発展が期待されています。

そこで、食品製造プロセスのDX・AI・データ活用に取り組む契機として、一般社団法人広島県食品工業協会と共催し、2月4日（金曜日）にオンラインにて、先進的な実践実績をお持ちの講師からその事例を御講演いただくとともに、今後の取り組みに向けたアドバイスをいただきます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、情報収集等事業活動に制限がかかる中、是非多くの事業者のみなさまに、このオンライン講演会に御参加いただきたいので、報道機関の皆様にご紹介いただければ幸いです。また、当日全てのプログラムがWebにて取材可能です。御希望があれば担当に御連絡ください。

2 企画内容

(1) 日時

令和4年2月4日（金曜日）13時10分～16時40分

(2) 参加方法

右記のQRコードより、ホームページ記載の留意事項を御確認の上、参加申込フォームよりお申し込みください。

【令和4年1月26日（水曜日）申込締切】

(3) 定員

300名（参加費無料）

(4) プログラム

13時10分 開会

13時15分 **【講演1】広島県が考えるDX**

広島県総務局デジタルトランスフォーメーション推進チーム

主事 大久保 誠二（おおくぼ せいじ）氏

広島県が推進するDX・データ活用の意義・考え方を解説いただきます。

13時50分 **【講演2】食品製造プロセスにおけるAI・センサデータの活用方法とその実践例**

近畿大学工学部 電子情報工学科 教授 学科長 竹田 史章（たけだ ふみあき）氏

人工知能（AI）を使用した原材料の選別及び異物検査技術などの実践例を紹介し、AI・センサデータ活用の基礎から応用までを解説いただきます。特に異物（血合いなど）の検査や豆入りチョコレートなどの自然物を含む完成品の検査を具体例として示し、ファクトリーオートメーションについても言及していただきます。

15時00分 **【講演3】中小食品関連企業における最先端のAI・ロボット・量子コンピューターの導入**

一般社団法人 日本惣菜協会 AI・ロボット推進イノベーション担当

フェロー 荻野 武（おぎの たけし）氏

人・もの・金のリソースが潤沢でない中小食品関連企業において、最先端のAI・ロボットを導入するにはどうすればいいのか。現在、日本惣菜協会が推進している国家プロジェクトの具体的な内容を紹介します。

16時05分 **【意見交換】**

講師からDX・AI・データ活用等に取り組む参加者へのアドバイスをいただきます。

また、事前に参加者から頂いた質問を中心に質疑、意見交換を行います。

16時40分 閉会



ホームページ



申込フォーム

食品工業技術センターは、県立総合技術研究所の食品専門機関として、県内の中小企業のみなさまに寄り添い、食品製造に関する様々な技術支援を行っています。支援内容や支援事例は、当センターホームページの「利用案内」や「支援事例」からご覧いただけます。

当センターHPのトップページには、次のキーワード検索かQRコードからアクセスしてください。

また、相談は無料で行っていますので、お気軽にお問い合わせください。

（電話 082-251-7433、メール skcgi.jutsu@pref.hiroshima.lg.jp）

広島 食品工業技術センター | 

